

昭和三十五年度

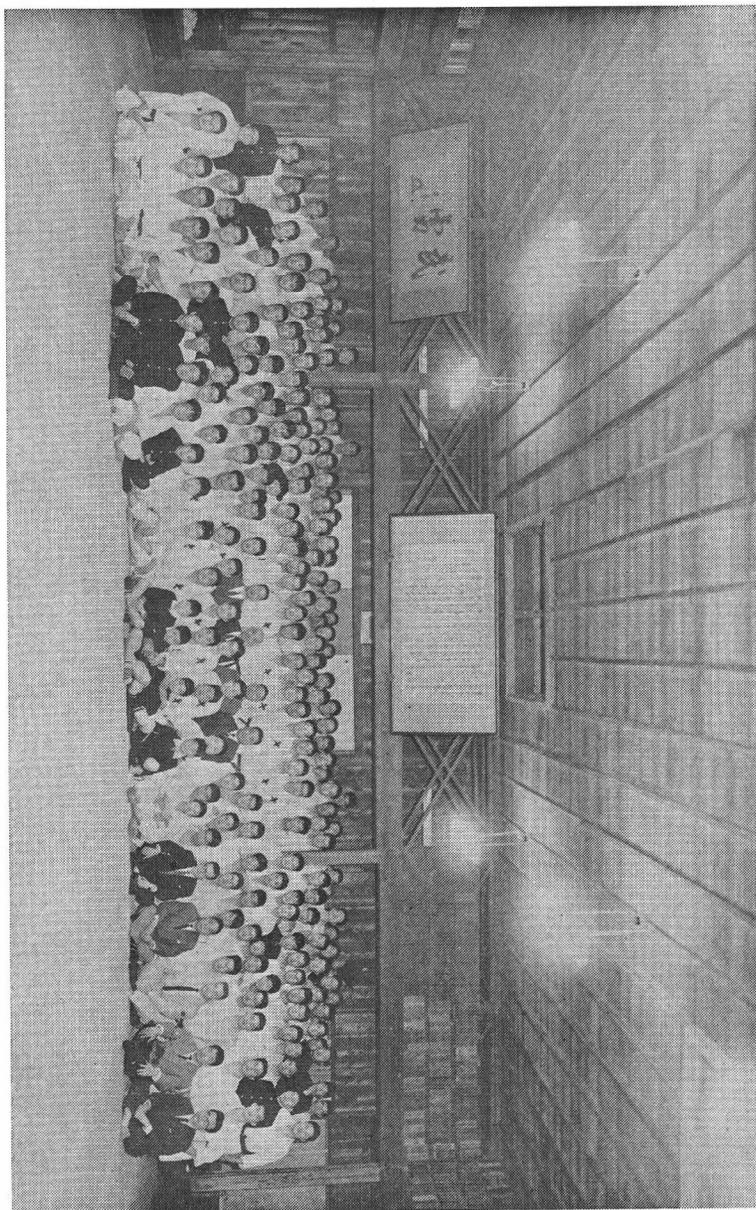
当時の追憶から

高田 幸人

日頃、三田の道場で錬磨した技・根性が試される唯一の機会として昔も今も変わらない慶早戦がある。私もこの慶早戦には数多くの思い出があるが、残念ながら第十二回大会（昭和三十五年）以後、勝利の美酒を味わうには至っていない。一刻も早く連敗をストップさせたいものだ。

昭和三十五年も例により新幹事による稽古から始った。特に前年勝って卒業された慶早戦メンバーが十一名もおり、この穴埋めを如何に行なうかが大きな課題であった。このため、第一回の新幹事会で決められた方針は次のことであった。一、厳然たる規律、二、不断の努力、三、不屈の闘志。以上の三原則を守れることを誓い合ったものだ。加えて、清水先生が日頃、口癖のように云われていた『道場は技を磨く所ではなく根性を養う所だ』を目標にスタートをしたのである。（十七年前の出来事を回想するため、多少記憶が前後するが）

まず四月二十四日、東京・関東学生段別大会。当時の新聞の切り抜きによれば、『慶大生が大活躍』スポーツ面のトップを飾り、二段の部、優勝友田。参段の部、優勝植村（剛）。四段の部、優勝南選手等の記事が報道された。慶大柔道部が久々に放った快挙であった。このような記事から見ると当時の学生柔道界のトップに位置していたことが理解してもらえらると思う。私はこの記事を読んだのは残念ながら春の合宿でのケガのため慶応病院のベットの中であった。



昭和三十五年卒業生送別記念

(病名は骨膜炎を骨髄炎として手術を受け四月末日まで入院。)今、思うと「若気の誤ち」であったと反省されるが、お陰で、最近では人一倍健康管理を痛切に感じているこの頃である。

八月三十日から九月六日まで関西遠征、例年ながら夏の遠征は九州か四国方面を計画する手筈であったが、前記にもあるように慶早戦メンバー十一名の穴埋めのため、又対早大戦を仮想し、当時の地方としては最強の相手を求め全員進んで関西遠征を選択したのであった。結果的には『対大阪府警』、『対全兵庫』、『対東洋レィオン』、『対天理大学』各チームに全敗を喫した。誰れも想像しなかったことであつたが記録は正直である。この汚名は対早大戦に勝利することで報いられると固く信じたものであつた。残念ながらこの年の対早大戦より連敗の記録が始つたようである。関西遠征の中で特に思い出すことは、天理大学で九月二日より六日まで合宿したことである。二百五十疊敷の道場が二棟続き、広々とした中で全員が息つく間もなく猛稽古に励んだことであつた。(実はあまりに広いため休んでいると目立ち、橋本先生からハッパをかけられたため)稽古の時間は僅か一時間半程度だつたと思うが、技のかけっぱなしであつたと記憶している。「ほんとうに疲れた」という実感が湧いた。今でも思い出すたびにワキの下から汗がじわっとにじんでくるようだ。しかし驚いたことには、天理大の学生は息切れすることなく平靜の態度でこれらを消化して行つた。同じ部員でありながらこの体力の差を見せつけられた時、大いに考えさせられた。対早大戦に勝つためにはこの息切れを克服することにあると思う。要は質より量の問題ではないだろうか、勝つためには部員各自が頭で考え、これを実践し、反省し、繰り返し同じことを練習に励んでいることは今も昔も変わらない。この天理大学の柔道部の練習方法も一理はあると考えられる。人間初めからいきなり一時間の猛稽古に耐えられるだろうか、これを可能にするためには「練習」の一字しかない。小泉信三先生の言葉を借りるならば「同じことの繰り返し」が練習であると教わつた。話題を変えた話しを一つ披露すれば、例年、夏の遠征には「下痢の話」がある。この年も例年にもれ

ず天理大学合宿最後の日に訪れたほとんどの部員が夜半から夜を徹して便所へ通った。なお重症患者は医者の治療を受けたが清水先生だけは例のごとく元気であった。翌朝、解散の時はみんながやっと帰れるだけの体力が残った感じであった。私もこの苦しい経験を味った一人であるが夕方やっとお粥が食べられるようになったことを生々しく憶えている。最後に対早大戦、連敗の起年度となった第十二回大会を思い出して見たいと思う。前評判は六分方は慶応有利との見方であったが記録によれば二名を残されて負となった。個々の戦績の詳細は柔友会報第十一号に掲載されているので省くとするが、前年度の優勝を守り抜けなかったのが未だに悔まれてならない、しかもそれが十七年も続いていることは現役部員と共に大いに真剣に考えるに価することではないだろうか。記録は無情にも書き改められない。今回の部史編纂に当り特にこのことを忘れることが出来ない。

また、関西遠征の戦績と早慶戦の戦績を比べてわかったことであるが、関西遠征の敗因は最上級生の我々が渡辺(雅)君の四勝二敗一引分を除き全員が負けているが、しかし対早大戦で活躍したのはこの遠征を生かした上級生であったと記憶している。永きサラリーマン人生の中で一度失敗すると立直りは相当に骨が折れるが学生時代の負はすぐ取り返せるのではないだろうか。スポーツの良さは、自からが信じる方法で実践しこれが「勝か負け」のはっきりした区別で審判が下され、敗れば即反省し勝つ為の方法を考え直し厳しくこれを稽古するしかないのではないか。最後に学生柔道として、頭脳を使った科学的に訓練された、結果された総合力のある学生柔道の造成を期待し、塾柔道部の真価が再び發揮されんことを念願し回想したい。

佐久間知三、石渡英二、中野森蔵、成毛秀
 臣、成毛雅臣、酒井暎彦、山際正明、長島慶
 一、高松静男、金成禮徴、伊藤照彦、猪原恒
 夫、照井伊豆、田坂昭、鈴木正毅、福田靖
 与、萩原正夫、吉川文雄、稲田詢、博田裕
 久、小高登志、永井稔、峰岸鎮治、児玉一
 男、齊地信夫、石原徳治、長島好男

第九回東北・北海道对抗柔道大会

個人戦
 一回戦 ○石田勝克(4) 弘巻込 大場(5)(秋田)
 二回戦 ○石田勝克 優勢 町山(4)(夕張)
 三回戦 ○石田勝克 弘巻込 三上(3)(函館)
 四回戦 ○石田勝克 優勢 川田(5)(上旭川)
 決勝 ○石田勝克 優勢 米田(3)(秋田)
 石田勝己は本年卒業して王子製紙へ勤務。

進級月次試合

一月十七日 於 網町道場

八・九級之部

1 海野隆雄 引分 金原明彦
 2 金原明彦 体落 ○深谷総一郎
 3 ○深谷総一郎 合技 秋山修
 4 ○深谷 移腰 山木慧
 5 ○深谷 小内返 海野隆雄

深谷抜群にて優退

6 中沢征身 引分 山田剛
 7 ○山田剛 足払 松本勝則
 8 山田 弘腰 ○田中明男
 9 ○田中明男 大外刈 小岩井剛

五・六・七級之部

1 ○金杉 浩 大外返 堀信孝
 2 ○金杉 弘腰 牛場春夫
 3 金杉 引分 田中明男
 4 田中明男 引分 菅原
 5 ○菅原 小外刈 井上斌
 6 菅原 引分 藤江一正
 7 藤江一正 小外刈 ○吉永
 8 吉永 引分 高橋

三・四級甲組の部

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	乙・丙組之部			
玉伊	玉伊	佐藤	佐藤	佐藤	山中	横江	大上	佐久間	佐久間	金丸	荒川	荒川	桑原	桑原	桑原	太田	太田	太田	高橋
寛章	寛章			武男	三十六宏	祥宏	祥宏			忠雄		徹			晴夫				勝朗
引分	優勢	引分	小外刈	大外刈	大外刈	背負投	大内刈	固技	大外刈	引分	払腰	背負投	背負投	優勢	優勢	釣込腰	背負投	大外刈	大外刈
山岸	二田	玉伊	城野	門野	○佐藤	○山中	○横江	○大上	○柳沢	○佐久間	○金丸	○門倉	○荒川	○中村	○山口	○酒本	○辻村	○辻村	○太田
治平	弘章	寛章	秀男	倬也	武男	三十六宏	祥宏	祥宏	紘	勇	忠雄	正幸	徹	公保	日太郎		捷二	篤三	勝朗

19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
梅沢	石川	片岡	福田	○福田	永岡	○永岡	○永岡	齋藤	山本	○山本	○山本	○山本	佐藤	山口	望月	○望月	三宅	山口
潤二	莞	滋	資	泰		俊昭	誠一					修三	忠	昌德		護	尚典	昌德
大外刈	引分	内股	引分	大外刈	引分	優勢	移腰	合技	袈裟固	内股	大内刈	後腰	内股	引分	上四方	送襟	引分	
○渡辺	○梅沢	○石川	○片岡	○高橋	○福田	○草場	○小平	○永岡	○齋藤	○片桐	○滝沢	○森田	○山本	○佐藤	○山口	○鴻田	○望月	○三宅
久光	潤二	莞	重滋	厚資	泰	賢	猛	昭	誠一	正路	緑郎	総典	修三	忠	昌德	秀夫	尚護	尚典

三年

城、山中、中村、古橋、川崎、原田、石塚、野田、金成、津隈、西松、安西、渡辺(久)、高橋、曾根、渡辺(東)、長井、福原

林(政)、福山、木村、榊原、音川、大熊、飯野、永岡、新宮、加藤、堀、清水、長谷川、渡辺(芳)、高瀬、土屋、薄、松原、梅沢、安藤、小松、笠原、林(伸)、栃本、岩倉

二年

植村(剛)、植村(健)、阿部、小林、瓜生、森田、古森、関根、山田(氏)、松吉、本多、八木、熊谷、山田(精)、杉浦、渡辺、滝沢、川上、岩沢、岡田、佐藤、清野、堤、田北、三宅、大島、西村、二田水、沢井、保谷、林、山崎、斉藤

一年

友田、中野、永田、大石、大久保、草場、高橋(彦)、永岡、西島、岩本、勝本、森、石井、稲田、鈴木、渡辺(正)、玉井、梅田、村上、加藤、福田、山越、望月、宮本、長田、井田、佐藤、川上、吉沢

進級月次試合

四月二十二日 於 綱町道場

七、八、九級の部

1	○田部井	稔	内股	菅原弘道
2	○田部井	優勢	紋技	青山憲一
3	田部井	絞技	引分	○岩崎清武
4	○岩崎	引分	引分	若宮直行
5	岩崎	引分	引分	竹本真次
6	○竹本	引分	引分	牛場春夫
7	竹本	引分	引分	望月克己
8	○望月	引分	引分	深谷総一郎
9	○望月	引分	引分	田中明男
10	望月	引分	引分	中山祺朗
11	中山祺朗	引分	引分	○中沢征身
12	中沢征身	引分	引分	○金杉浩
1	柳沢	合技	合技	○長尾洋祐
2	○長尾	合技	合技	石原武尚
3	長尾	合技	合技	○中村公保
4	○中村	合技	合技	山口日太郎
5	中村	合技	合技	○田中敏博
6	○田中	合技	合技	柳沢敏
7	田中	合技	合技	○金丸忠雄
8	○金丸	合技	合技	門倉正幸

乙丙組の部

甲組の部

9	○金丸	内股	橋本信賢
10	○金丸	小内刈	桑原靖夫
11	金丸	背負投	○荒川徹
12	○荒川	背負投	横江宏
13	荒川	引分	門野倬也
1	佐藤武男	背負投	○城秀男
2	城秀男	引分	玉伊寛章
3	玉伊寛章	引分	伊藤浩史
4	○伊藤浩史	背負投	山口冒徳
5	伊藤武男	合技	○佐藤武男
6	○佐藤武男	釣込腰	鴻田秀夫
7	○佐藤	合技	三宅尚典
8	佐藤弘平	払腰	○二田水弘平
9	二田水弘平	足払	○山岸治
10	○山岸治	内股	○山岸治
11	山岸	跳腰	○森田総典

第九回東京関東学生柔道段別選手権大会

第九回、東京、関東学生柔道段別選手権大会に塾から

四月二四日 於 講道館

初段の部に、大石、鈴木(正)、武段の部に友田、佐藤(進)、参段の部に植村(剛)、林(政)、四段之部に佐藤(紘)南が出場した。

初段大石、鈴木、武段佐藤は準々決勝に進みながら敗退したのは残念だった。友田は、組合せの幸運もあったが、堂々と優勝した。植村は、試合が進むにつれ、調子をあげて優勝した。林は、強敵佐藤に敗れた。南は足を痛めながら決勝に残ったのは立派であった。

出場者が、全員、充実した気力と、部員の応援で、好成績を取めたことは喜ばしい。

初段之部

一回戦

○大石陸平 横四方 梅原(教育大)

二回戦

○大石陸平 釣込腰 横山(東理大)

○鈴木正慶 大外刈 藤田(中大)

三回戦

○大石陸平 釣込腰 榑原(専大)

○鈴木正慶 上四方 吉岡(成蹊大)

四回戦

○大石陸平 優勢 松尾(東大)

	○鈴木正慶	上四方	大井(関東学院)
準々決勝	大石陸平	体落	○武田(日大)
	鈴木正慶	体落	○佐々木(明大)
式段之部			
一回戦	○友田義輔	不戦	久保田(成蹊大)
	○佐藤進	背負投	榎本(埼玉大)
二回戦	○友田義輔	不戦	尾上(都立大)
	○佐藤進	大外刈	永田(国学院大)
三回戦	○友田義輔	大外刈	小倉(東工大)
	○佐藤進	背負投	筒井(工学院大)
四回戦	○友田義輔	送足払	岩戸(明大)
	佐藤進	内股	○八尋(日大)
準決勝	○友田義輔	払巻	大栗(日大)
決勝	○友田義輔	払巻	吉村(中大)

友田は決勝で一本勝して見事優勝した。

参段之部

二回戦	○植村剛太郎	優勢	八木平(東洋)
	林政宏	優勢	○佐藤(教育大)
三回戦	○植村剛太郎	大外巻	目黒(明学大)
四回戦	○植村剛太郎	合技	湯沢(東大)
準々決勝	○植村剛太郎	優勢	荒谷(教大)
準決勝	○植村剛太郎	優勢	山本(明大)
決勝	○植村剛太郎	優勢	佐藤(教育大)
四段之部			
一回戦	○佐藤絃	合技	淵(東農大)
	○南健雄	不戦	木倉(立教大)
二回戦	○南健雄	体落	○松山(拓大)
	○南健雄	優勢	太田(明学大)

植村は安定した力で優勝を飾った。

大將

佐藤	新原	齋村	植谷	熊谷	植村	阿部	小林	小林	岩沢	長戸	伊丹	大熊	太田	太田	太田	太田	友田	友田	友田
武文	秀一郎	剛太郎	正志	健次郎	智応			浩一	伸夫	和太郎	正太郎	之三			桂吉				
(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)			(3)	(3)	(3)	(3)				(3)				
引分	引分	優勢	引分	合技	引分	引分	引分	一本背負	横四方	引分	大外刈	内股	内股	大内刈	大内刈	小外刈	上四方	合技	内股

大將

広瀬	渡辺	渡辺	福山	福山	木村	林政	新宮	町田	町田	音川	音川	音川	音川	加藤	山口	押切	押切	田村	上原
嘉嗣	東洋	東洋	浩洋	浩洋	寛宏	政宏	松比呂	勝己	勝己				和	進	滋	忠義	忠義	泰男	惟道
(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)				(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)

先輩掛試合

先輩

福田			遠藤						阿部					渡辺					
満			千春						大助					明治					
○後腰	○巴投	○支釣込足	○脇固	○大外刈	○釣込腰	○足払	○合技	○合技	○大外刈	○移腰	○払腰	○優勢	○小外刈	○払腰	○大外刈	○大外刈	○払腰	○現役	
○関根	○沢井	○永岡	○薄信	○古橋	○野口	○小島	○大島	○加藤	○新宮	○松吉	○森田	○林伸	○長戸	○太田	○八木	○清野	○現役		
隆範	正明	秀昭	鉄治	和志	康三	拓太郎	松比呂	進	浩一	省三	浩典	良	和夫	桂吉	春樹	仁			

成毛雅臣

○大外刈 長田之孝
 ○大外刈 西島 潔
 ○小外刈 大久保 一清
 ○小外刈 原田 進
 ○優勢 中村 重之

成毛英臣

○弘卷 金成 弘之
 ○小外刈 野田 嘉定
 ○小外刈 山越 三郎
 引分 山口 和彦
 ○弘卷 押切 忠義

水谷英男

○大内刈 梅田 弘
 ○体落 稲田 陽
 ○小外刈 宇津木 繁
 ○大内刈 川崎 康幸
 崩上四方○山口 和彦

児玉一男

○大外返 井上 雅行
 ○釣込腰 渡辺 正男
 ○体落 福田 泰資
 大内刈 ○山田 精一
 巴投 ○渡辺 紀久男

東京大会第一次強化合宿

東京大会を目指して、三十三名が、五月八日～十四日迄、七日間、三田綱町道場で合宿に入った。

合宿者

四年 高田、南、新原、佐藤、広瀬、渡辺(東)、芥、

押切、清水、山口(滋)、渡辺(雅)、津隈、太

田、上原、田村(泰)、山口(慎)

三年 林、福山、木村、新宮、音川、加藤、榊原、大

熊、永岡

二年 町田、植村(剛)、植村(健)、阿部、小林、関根

一年 友田、永田

日吉高校対立教高校对抗試合

五月二十一日 於 日吉体育館

本 塾 12 — 0 立 教

先鋒 酒本 正継 引分 先鋒

○城 秀男 矢島

○辻 捷二 国村

○佐藤 武夫 深沢

○佐藤 忠 浅野

○片桐 正路 家納

滝沢 緑郎 引分 川窪

○井上雅行(劬) 大鷲
 片岡滋(劬) 嶋田
 小平猛(劬) 引分 平沢
 ○斎藤誠(一劬) 引分 鴉沢
 ○仙石通泰(劬) 西
 ○添野元晴(劬) 引分 矢辰
 福田泰資 引分 鈴木
 稲田勳 引分 小松
 石川莞二 引分 新井
 ○吉田稔(劬) 小林
 ○野口和志(劬) 町田
 大将○峰岸保夫 大将 染谷

東京大会第二次強化合宿
 東京大会での優勝を目指して第二次合宿が五月二十二日～二十八日の七日間、三田綱町道場にて始まった。

合宿者
 四年 高田、南、新原、佐藤、広瀬、押切、渡辺(東)
 清水、山口(滋)、渡辺(雅)、田村、山口(慎)、
 齐
 三年 林、福山、木村、音川、加藤、榊原
 二年 町田、植村(剛)、小林

一年 永田、岩本、山口

関東大会神奈川県予選(日吉高校)

五月二十九日 於 横浜武道館

第一回戦

日吉高校 2 — 1 三浦高校

第二回戦

日吉高校 2 — 0 横須賀高校

第三回戦

日吉高校 2 — 0 鶴見高校

第四回戦

日吉高校 3 — 1 平塚高校

準決勝

日吉高校 1 — 3 法政二高

三位決定戦

日吉高校 0 — 1 日大藤沢高

出場者 峰岸保夫、吉田稔、稲田勳、井上雅行、野口

和志

第九回東京学生柔道優勝大会

五月二十九日 於 東京都体育館

二回戦

山越(2)	引分	小寺
○遠藤(2)	合技	梅田(2)
遠藤	釣込腰	○大石(2)
大將 永田(2)	引分	大石

日吉・志木連合

藤江	引分	招待高	石井(浦和西)
山田	大外刈		○樗沢(浦和市立)
吉川	崩上四方		○吉田(立教) (初)
橋本	合技		○中島(飯能) (初)
佐藤	大外返		○村上(浦和市立) (初)
佐久間	内股		○鈴木(立教) (初)
沢地	大外刈		○丸山(飯能) (初)
岡本	引分		志村(川越) (初)
辻	内股		○正裕(浦和西) (2)
田中	内股		○山本(浦和) (2)
山中	内股		○福岡(川越) (2)
添野	優勢		○倉持(浦和) (2)

全日本強化合宿

全日本大会に備えて、六月十二日～十八日迄の一週間

三田綱町道場にて行なった。

合宿者 高田、南、新原、佐藤、広瀬、清水、田村、山口(慎)、渡辺(東)、木村、福山、植村(剛)、植村(健)、瓜生

進級月次試合 六月十八日 於 綱町道場

六、七、八、九級の部

16 ○小岩井	剛	送襟紋	小林元博
15 田部井	引分		小岩井剛
14 ○田部井	大腰		牛場春夫
13 榑田良	引分		田部井稔
12 山科	合技		○榑田良平
11 石川晴男	合技		○山科晴減
10 金原明彦	袈裟固		○石川晴男
9 下条哲秀	引分		金原明彦
8 石井義延	釣込足		下条哲秀
7 高木	袈裟固		○石井義延
6 ○高木	優勢		藤田秀一
5 ○高木俊輔	釣込足		吉田真人
4 海野隆雄	引分		高木俊輔
3 関根正和	釣込足		○梅野隆雄
2 林孝司	引分		関根正和
1 ○林孝司	袈裟固		佐々木進

第九回全日本学生柔道優勝大会

六月十九日 於 都体育館

二回戦

本 塾 5 — 0 福岡大学

先鋒 植村 健次郎(3) 引分 先鋒 吉原(2)

○爪 生 長 志(3) 優勢 持 田(3)

○植 村 剛太郎(3) 崩上四方 石 橋(2)

中堅 ○福 山 浩 洋(3) 袈裟固 中堅 吉 村(2)

○佐 藤 紘 紘(4) 内 股 市 村(2)

○南 健 雄(4) 優 勢 中 尾(2)

大将 高 田 幸 人(4) 引分 大将 久 野(2)

三回戦

本 塾 0 — 2 日本大学

先鋒 植 村 剛太郎 引分 先鋒 佐 藤(3)

爪 生 長 志 優勢 ○三 浦(4)

高 田 幸 人 引分 附 田(3)

中堅 福 山 浩 洋 内 股 中堅 ○古 賀(4)

佐 藤 紘 紘 引分 松 林(4)

新 原 武 文 引分 尾 崎(4)

大将 渡 辺 東 洋(4) 引分 大将 伊 藤(4)

実力校日大に対し一矢もむくえず完敗した。試合態度

はきびきびして気持は良かったが、もう一つ壁を破る意欲に欠けていたきらいがあった。今後の稽古でそれをおぎなっていくたい。

神奈川県高校柔道大会兼全国大会予選(日吉高校)

六月二六日 於 平塚高校

リーグ戦一回戦

日吉高(B) 4 — 1 相 洋

先鋒 ○山 岸 治 袈裟固 先鋒 力 石

○齋 藤 誠 一 片襪絞 小 林

片 桐 滋 足 弘 ○北 村

○仙 石 通 泰 合 技 ○北 村

大将 ○井 上 雅 行 弘 腰 大将 椎 野

リーグ戦二回戦

日吉高(B) 2 — 1 武相高(A)

先鋒 山 岸 治 袈裟固 先鋒 ○高 橋

齋 藤 誠 一 引分 甲 斐

○片 岡 滋 優勢 中 島

○仙 石 通 泰 優勢 岡 村

大将 井 上 雅 行 引分 大将 清 家

リーグ一回戦

日吉高(A) 4 — 0 小田原高

先鋒 ○野 口 和 志 大外刈 先鋒 小 泉

齋藤良平 引分 高橋
 ○森田總典 大外刈 北村
 ○吉田 大外刈 二榎木
 大将○峰岸保夫 内股 大将 杉本
 リーグ二回戦

日吉高(A) 3 — 0 日大藤沢

先鋒○野口和志 内股 先鋒 福山
 齋藤良平 引分 難波
 ○森田總典 大外刈 原
 吉田 引分 伊藤
 大将○峰岸保夫 弘腰 大将 沼上
 トーナメント一回戦

日吉高(B) 4 — 0 浜商工B

先鋒○山岸治 内股 先鋒 上野
 齋藤誠一 引分 天野
 ○片岡滋 背負投 松原
 ○仙石通泰 内股 佐藤
 大将 井上雅行 袈裟固 大将 石田
 日吉高(A) 不戦勝 翠嵐高

トーナメント二回戦
 日吉高(B) 0 — 4 法政二高A

先鋒 山岸 治 優勢 先鋒○宮元

佐藤忠 引分 鈴野
 片岡滋 内股 ○吉川
 仙石通泰 足弘 ○青野
 大将 井上雅行 合技 大将○上田
 日吉高(A) 2 — 2 逗子開成A

先鋒 野口和志 引分 先鋒 小林
 ○齋藤良平 優勢 矢野
 森田總典 背負 ○石井
 吉田 引分 田村
 大将 峰岸保夫 優勢 大将○高橋
 代表戦

吉田 引分 石井
 野口和志 引分 矢野
 抽選の結果慶応(A)の勝

準決勝

日吉高(A) 1 — 2 日大A
 先鋒 野口和志 引分 先鋒 田中
 齋藤良平 優勢 ○渡辺
 ○森田總典 優勢 田辺
 吉田 袈裟固 ○関
 大将 添野重穂 引分 大将 中丸

進級月次試合

七月二日 於 網町道場

六、七、八、九級の部

1	神木美晴	支釣込足	○大上祥彦
2	藤田秀一	合技	石井義延
3	梅野隆雄	引分	梅野隆雄
4	金原明彦	引分	金原明彦
5	柳田良平	合技	柳田良平
6	山科良誠	引分	山科良誠
7	竹本真次	袈裟固	竹本真次
8	竹本真次	袈裟固	竹本真次
9	竹本真次	大外刈	牛場春夫
10	堀信考	大外落	堀信考
11	岩崎清武	引分	岩崎清武
12	望月克己	移腰	望月克己
13	秋元真明	引分	秋元真明
14	沢地真憲	引分	沢地真憲
15	辻村篤三	合技	辻村篤三
16	金杉篤三	合技	金杉篤三
17	藤江正浩	袈裟固	藤江正浩

甲組の部

6	城	体落	○田中敏博
5	城	背負投	門野也
4	城	優勢	山口昌徳
3	城	優勢	鴻田秀夫
2	山中三十六	送襟絞	○城中三十六
1	伊藤浩史	体落	○山中三十六
17	金丸忠雄	内股	○横江宏
16	永岡	背負投	○金丸忠雄
15	永岡	合技	桑原靖夫
14	永岡	合技	長尾洋裕
13	許斐義信	返技	○水岡正昭
12	許斐義信	大内返	○吉村庄平
11	堀江忠彦	裸絞	○許斐義信
10	加藤千濤	返技	○堀江忠彦
9	加藤千濤	引分	○横内寛一
8	奈良間正幸	袈裟固	○加藤千濤
7	門倉正幸	大外落	○奈良間正幸
6	安西昭八郎	袈裟固	○門倉正幸
5	安西昭八郎	袈裟固	○岩原武尚
4	杉谷	引分	○安西昭八郎
3	大上祥彦	合技	杉谷
2	大上祥彦	合技	西岡康宏

- 7 田中敏博 大外落 ○井田健爾
- 8 井田健爾 払腰 ○二田水弘平
- 9 二田水弘平 縦四方 ○佐藤武男
- 10 佐藤武男 引分 佐藤忠

日吉高校新津に遠征合宿

七月二十六〜二十九日

昭和三十一年卒業の吉川文雄君の招待により、高校生は左記の通り新津に遠征した。

朝飛師範、小林監督以下十一名七月二十六日八時半上野駅に集合九時発急行「佐渡」にて新津に向った。
白根市の吉川先輩の御宅に宿泊し、稽古、合間を見て試合を行い有意義な遠征合宿を行なった。

对白根市柔道部対抗試合

七月二十六日 於 白根市

日吉高 7 — 3 白根市

- 先鋒 ○福田泰資 横四方 先鋒 岡村
- 片桐正路 釣込腰 ○竹内
- 仙石通泰 背負投 谷川
- 稲田 勳 足弘 高橋
- 片岡 滋 縦四方 小林
- 森田 総典 大外刈 藤原

对加茂農林高校対抗試合

七月二十八日 於 白根市

点取試合

本塾 3 — 2 加茂農林

- 先鋒 福田泰資 一本背負先鋒 ○牧野
 - 片桐正路 縦四方 小山
 - 仙石通泰 上四方 ○高塚
 - 稲田 勳 引分 高橋
 - 片岡 滋 引分 熊倉
 - 森田 総典 大外刈 安達
 - 石川 莞二 合技 吉崎
 - 吉田 稔 引分 佐々木
 - 齋藤良平 引分 齋藤
 - 大將 野口和志 引分 大将 金子
- 勝技試合
- 先鋒 森田 総典 背負投 ○加藤
 - 日吉高 加茂農林
- 石川 莞二 崩上四方 ○吉川
 - 吉田 稔 袈裟固 巖
 - 齋藤良平 大外刈 ○星野
 - 大將 ○野口和志 大外刈 大将 外川

関西遠征

八月三十日～九月六日

今年は、強敵がひかえている関西地区を選んで行った。特に警察柔道最強の大阪府警、実業団最強の東洋レィオン、大学最強の天理大と戦う事は今後の為大いに役立つものであろう。総勢六十七名関西へ向かった。

大将	吉田	野口	野口	稲田	石川	片岡	齋藤	福田	福田	福田	福田	片桐	仙石
	田	口	和	勸	莞	滋	良	平	田	田	田	正	通
			志	勸	二	滋	平	平	田	田	田	路	泰
	総												
	引分	一本背負	引分	内股	上四方	引分	送襟絞	引分	背負投	縦四方	合技	合技	背負投
	大将												
	安達	高橋	金子	齋藤	齋藤	高塚	高塚	吉岡	吉岡	小山	牧野	富樫	加藤
													加藤

前後八日間の戦績は、連戦連敗となったが相手が関西一流の強力チームである事からやむを得ないにしても、問題は内容である。この遠征の「鍛練行」を生かして対早稲田戦に充実した試合が出来る戦をしたい。

対大阪府警対抗試合

八月三十日 於 大阪ニュージャパン

先鋒	永田	武二郎(2)	崩裂姿	先鋒	菊地
本	永田	謙三	腕がらみ	〇恒	松
塾	岩井	和彦(2)	釣込腰	〇恒	松
	山口	義輔(2)	背負投	〇峯	倉
	山口	輔(2)	送襟絞	〇峯	倉
	山口	引分	引分	〇峯	倉
	友田	弘腰	引分	〇峯	倉
	友田	弘腰	引分	〇峯	倉
	清水	徹(2)	跳腰	〇中	筋
	清水	徹(2)	跳腰	〇中	筋
	林	伸良(2)	大外刈	〇安	宅
	林	伸良(2)	大外刈	〇安	宅
	渡辺	雅和(2)	横四方	〇坂	手
	渡辺	雅和(2)	横四方	〇坂	手
	優勢		優勢	坂	手
	優勢		優勢	坂	手

木村	○木村	福山	○福山	新宮	爪生	○爪生	青川	林政	植村	加藤	押切	熊谷	町田	○町田	○榊原	小根	関根	森田	永岡	○永岡	渡辺	
	寛(3)	浩洋(3)	○浩洋(3)	松比呂(3)	長志(3)	○長志(3)	和三(3)	政宏(3)	剛太郎(3)	進(3)	忠義(3)	正志(3)	勝己(3)		孝至(3)	浩一(3)	隆範(3)	浩典(3)	秀昭(3)	○秀昭(3)	雅和(3)	
釣込腰	弘腰	上四方	優勢	引分	体落	釣込腰	引分	引分	引分	引分	内股	引分	引分	返技	崩上四方	合技	引分	引分	内股	優勢	送り足払	
○比嘉	○脇園	○脇園	土本	○松江	○松江	小松	舟部	新谷	井上	荒金	○荒金	高根	松島	○野津	○野津	吉坦	○吉坦	柏木	○高橋	○高橋	○安田	○安田
嘉(5)	園(4)	園(4)	本(4)	江(4)	江(4)	松(4)	部(3)	谷(3)	上(3)	金(3)	金(3)	根(3)	島(3)	津(3)	津(3)	坦(3)	坦(3)	木(3)	橋(3)	橋(3)	田(2)	田(2)

对全兵庫県对抗試合

八月三十一日 於 灘柔道場

小林	森田	○森田	○関根	清水	渡辺	○渡辺	永岡	林伸	友田	岩本	永田	先鋒	本塾	全兵庫	比嘉	○比嘉
浩一(3)	浩典(3)	○浩典(3)	根隆(3)	徹(3)	渡雅和(3)	○渡雅和(3)	秀昭(3)	伸良(3)	義輔(2)	本謙三(2)	武二郎(2)	引分	先鋒	真子(2)	佐藤	○比嘉
引分	引分	内股	優勢	送足私	合技	引分	引分	引分	大外返	内股	引分	先鋒	增笛	增笛(2)	引分	優勢
瀬戸口(3)	岩田(3)	○浅沼	○森本	○森本	矢田	美野	杜(2)	增笛	○增笛	○增笛(2)	真子(2)	全兵庫	河野	○河野	比嘉	○比嘉
		沼	本	本	田	野		笛	笛	笛	子	灘柔道場	野	田	嘉	嘉
													(5)	(5)		

以上大将一人を残して惜敗した。

敗れた。

大将以下二人を残され、前半の失点をばんかい出来ず

大将

高田幸人(4)	渡辺東洋(4)	佐藤紘(4)	広瀬嘉嗣(4)	新原武文(4)	木村寛(3)	木村寛(3)	福山浩洋(3)	福山浩洋(3)	植村剛太郎(3)	植村松比呂(3)	新宮長志(3)	爪生正志(3)	熊谷政宏(3)	林川和三(3)	音川進(3)	加藤勝己(3)	町田勝己(3)	柳原孝至(3)
引分	袈裟固	引分	引分	引分	優勢	弘腰	引分	釣込腰	引分	足車	支釣込足	引分	優勢	引分	引分	引分	引分	引分
岡野(4)	岡野(4)	山本(4)	太田(4)	安田(4)	安田(4)	岩崎(4)	坪田(4)	植田(3)	古瀬(3)	服部(3)	服部(3)	浜門(3)	浜門(3)	岩崎(3)	松本(3)	須田(3)	藤岡(3)	岡田(3)

対全東レ對抗試合

九月一日

於 東レ滋賀工場明道館

本 塾

全東洋レーヨン

○神原孝至(3)	○神原隆範(3)	関根	小林	○小林浩一(3)	○小林浩一(3)	清水(英)	永岡秀昭(3)	渡辺(雅)	渡辺(雅)	田村(3)	林伸良(3)	押切忠義(3)	友田義輔(2)	清水徹(2)	八木春樹(2)	岩本謙三(2)	山口和彦(2)	永田武二郎(2)	先鋒
背負投	大外刈	引分	背負投	優勢	体落	内股	引分	弘腰	一本背負	内股	優勢	引分	引分	引分	大外返	弘腰	引分	内股	先鋒
岡部(2)	氏内(2)	城丸	○城丸(2)	古家(2)	○中田(2)	○中田(2)	岩元	○岩元(2)	佐藤	○佐藤(2)	○佐藤(2)	池田(2)	佐々木(2)	近藤	○近藤(2)	○近藤(2)	辻田	○辻田(2)	辻田

無気力の目立つ試合であった。
 実業団の雄東洋レーヨンに対し七人を残され完敗した

大将	高田幸人(4)	渡辺東洋(4)	佐藤紘(4)	広瀬嘉嗣(4)	新原武文(4)	福山浩洋(3)	木村寛(3)	植村	植村	植村	植村	音川和三(3)	新宮松比呂(3)	林政宏(3)	爪生志(3)	加藤進(3)	町田勝己(3)	森田浩典(3)	榊原
	引分	引分	抱落	引分	引分	引分	引分	引分	大内刈	合技	引分	引分	引分	内股	引分	小外刈	小内刈	弘腰	内股
	坪田(2)	川村(2)	川村(2)	田中(2)	長村(2)	金光(2)	橋本(2)	松森(2)	新原(2)	宮園(2)	赤塚(2)	慶田(2)	慶田(2)	刀称	刀称	刀称	刀称	刀称(2)	

対天理大学對抗試合

九月五日 於 天理大学柔道場

先鋒	永田武二郎(2)	山口和彦(2)	岩本謙三(2)	八木春樹(2)	清水徹(2)	友田義輔(2)	押切忠義(3)	林(良)	渡辺雅和(3)	永岡秀昭(3)	小林浩一(3)	関根隆範(3)	町田浩典(3)	榊原孝至(3)	加藤進(3)	音川和弘(3)	爪生志(3)	林政宏(3)
本塾	内股	合技	引分	崩上四方	釣込腰	合技	弘腰	引分	一本背負	内股	引分	優勢	釣込腰	合技	釣込腰	弘腰	優勢	内股
6	13	天理大学																
先鋒	水崎(2)	市岡(2)	高山(2)	竹原(2)	戸上(2)	伊藤(2)	金田(3)	松田	緒方(3)	吉中(3)	平野(3)	塩賀(3)	前田(3)	奥田(3)	河崎(3)	真田(3)	中野(3)	雑賀(3)

新宮 比呂松(3) 合技 ○安井(3)
 植村 剛太郎(3) 引分 遠脇(3)
 木村 寛(3) 引分 興田(3)
 ○福山 浩洋(3) 釣込腰 前島(3)
 広瀬 嘉嗣(3) 引分 内野(4)
 新原 武文(4) 釣込腰 江金(4)
 佐藤 紘(4) 引分 中治(4)
 渡辺 東洋(4) 弘釣込足 ○熊本(4)
 大将 高田 幸人(4) 引分 大将 毛利(4)
 強ごう天理大学に堂々立向かったが、実力の差で完敗した。遠征最後の試合であったが、気力充実した試合ぶりであった。

本塾対神奈川県警對抗試合

十月十三日 於 神奈川県警察学校

本塾 12 — 3 神奈川県警

- 先鋒 ○八木 春樹(2) 優勢 先鋒 西田(2)
 ○榊原 孝至(3) 背負投 荒木(3)
 永岡 秀昭(3) 優勢 ○佐藤(3)
 ○渡辺 雅和(3) 一本背負 境野(3)
 林 伸良(3) 引分 会田(3)
 ○小林 浩一(3) 脇固 大田原(3)

- 阿部 智応(3) 引分 佐藤(3)
 ○青川 和三(3) 内股 工藤(3)
 加藤 進(3) 小内刈 ○小谷田(3)
 ○友田 義輔(3) 双手刈 小林(4)
 ○植村 健次郎(3) 優勢 小山(4)
 ○新宮 松比呂(3) 合技 後藤(4)
 ○爪生 長志(3) 釣込腰 菅原(4)
 林 政宏(3) 引分 永島(4)
 ○植村 剛太郎(3) 内股 諏訪間(4)
 ○木村 寛(3) 優勢 戸津(4)
 福山 浩洋(3) 引分 ○遠藤(4)
 渡辺 東洋(4) 優勢 後藤(4)
 斎秀 一郎(4) 引分 菅沢(5)
 新原 武文(4) 引分 菅屋(5)
 広瀬 嘉嗣(4) 引分 前田(5)
 佐藤 紘(4) 引分 藤原(5)
 大将 ○南 健雄(4) 跳腰 大将 藤原(5)
- 日吉高校対青山学院對抗試合
 十月十九日 於 青山学院
 日吉高 9 — 0 青山学院
 先鋒 ○沢地 合技 先鋒 桑名
 ○永岡 弘腰 蒲谷

○森田 大外刈 蒲谷
森田 引分 大将 深瀬
（大将以下三名残して勝つ）

日吉高校対立教高校対抗試合

十月二十三日 於 日吉道場

日吉高 9 — 6 立教高

先鋒 ○竹本 大外刈 先鋒 藤村
柳田 弘腰 ○石田
○秋元 返技 水越
牛場 引分 仲井
○堀 合技 小幡
山科 返技 ○合田
○望月 合技 関口
○許斐 合技 細田
○岩崎 体落 白井
○沢地 大外刈 田中
大田 引分 ○嶋田
加藤 内股 吉田
長岡 引分 深沢
山岡 足弘 天野
田中 引分 花島
辻 体落 ○鶴沢

滝沢 引分 西
井上 小外刈 ○小松
添野 釣込腰 ○鈴木(2)
大将 ○森田 大外刈 大将 平田

早慶戦第一次合宿

十一月二十七日の日対早大戦に備えて第一次強収合宿一
○月二四日〜十一月三日迄十一日間を三田綱町道場にて
開始した。

合宿者

四年 高田、南、新原、佐藤、広瀬、斉、渡辺(東)、
押切、清水、山口、渡辺(雅)、津隈、太田
三年 新宮、音川、榊原、林(政)、加藤(進)、永岡、
(林(伸)、三原、福山、清水(徹))
二年 植村(剛)、植村(健)、阿部、瓜生、小林、森
田、熊谷、田村、古森、佐藤(進)、八木
一年 友田、永田、宮本、山口、小寺

普通部対金沢中学対抗試合

於 十月

普通部 3 — 0 金沢中学
先鋒 田中(通) 引分 先鋒 高橋

○中山 背負投 一色
 田中(明) 引分 藤田
 ○菅原(正) 釣込腰 白井
 大将○金杉 大外返 大将 坂田

普通部対中等部対抗試合

十一月三日 於 綱町道場

普通部 中等部

先鋒 深沢 合技 先鋒○青山
 菅原 大内返 ○青山
 ○金原 優勝 青山
 金原 引分 相馬
 藤田(秀) 引分 柏
 山本 合技 ○深谷
 中山 痛分 深谷
 ○田中(明) 合技 田部井
 ○田中 大外刈 青山
 ○田中 弘腰 黒川
 ○田中 弘腰 小林
 ○田中 大外刈 吉田
 田中 引分 大将 井上

この結果普通部田中(明)の活躍で大将以下三名を残して普通部が快勝した。

第十二回全日本東西学生柔道対抗試合

並全日本柔道選手権大会

十一月五日 於 大阪府立体育館

塾からは植村剛太郎(3)、福山浩洋(3)、高田幸人(4)の3名が出場し成績は次の通り

植村 剛太郎 引分 小豆沢(島根大)
 ○高田 幸人 支釣込足 井上(同大)
 高田 引分 遠脇(天理大)
 福山 浩洋 引分 金山(近大)

第八回神奈川県高校対抗体重別柔道大会(日吉高校)

十一月十三日 於 厚木高校

二回戦

日吉高(B) 3 — 2 城東
 先鋒 牛場 春夫 合技 先鋒○太田
 ○小平 猛 優勢 熊切
 仙石 通泰 弘壘 ○林
 ○福田 泰資 優勢 青木
 大将○峰 岸保夫 合技 大将 杉崎
 日吉高(A) 2 — 1 市須工
 先鋒 加藤 引分 先鋒 時乗
 鴻田 背負投 ○山下

三回戦
 望月克己 引分 木皿
 ○佐藤忠 優勢 長森(初)
 大将○森田総典 不戦勝 大将 杉山(2)

先鋒○牛場 2 — 2 返子開成
 送襟絞 先鋒 辻

○小平 上四方 深井(初)

仙石 合技 ○高橋(2)

福田 引分 小林(2)

大将 峰岸 釣込腰 大将○田村(2)

代表戦

牛場 引分 辻

抽籤の結果慶応高敗退

日吉高(A) 3 — 1 市川崎高

先鋒 加藤 引分 先鋒 大山(初)

鴻田 体落 ○金沢(初)

○望月 送襟絞 高部

○佐藤 合技 中村(初)

大将○森田 大外刈 大将 伊藤(初)

四回戦

日吉高(A) 2 — 3 平塚高(A)

先鋒 加藤 体落 先鋒○宮川(初)

鴻田 合技 ○中戸川(初)
 望月 体落 ○奥山(2)
 ○佐藤(初) 優勢 平元(初)
 大将○森田(初) 大外刈 大将 平木(初)
 初出場の慶応は、健闘むなしくA、B両チームとも敗退した。

西部地区大会(志木高校)

十一月十九日 於 川越工業高校

リーグ一回戦

志木高 3 — 2 飯能高

先鋒○岡本 内股 先鋒 市川

山村 内股 ○丸山

○松浦 大外刈 下田

○中島 大外刈 道体

大将 神谷 逆技 大将○天野

リーグ二回戦

志木高 2 — 1 松山高

先鋒○岡本 内股 先鋒 島田

山村 引分 岡安

松浦 引分 内野

○中島 足弘 根本

大将 今井 内股 大将○尾関

リーグ三回戦

志木高

4 — 1 川越高校

先鋒 岡本

袖釣込腰先鋒 栗原

○山村

足弘 小川

○松浦

合枝 高橋

○中島

優勢 神山

大将 今井

袈裟固 大将 ○吉田

リーグ四回戦

志木高

0 — 4 立教高

先鋒 岡本

体落先鋒 ○島田

山村

優勢 ○西

松浦

袈裟固 ○鈴木

中島

引分 平田

大将 今井

弘腰 大将 ○小松

トーナメント一回戦

志木高

1 — 3 川越工業

先鋒 岡本

引分先鋒 小松

山村

内股 ○福島

松浦

合枝 ○永倉

○中島

体落 福永

今井

釣込腰 大将 ○園田

早慶戦第二次強化合宿

早大戦に備え、第二次強化合宿等調整の為の合宿を十一月二十日より二十六日迄の一週間三田道場にて行った。

合宿者

四年 高田、新原、南、佐藤、広瀬、渡辺(東)、渡辺

(雅)、押切、清水、津隈、山口(滋)、齐

三年 林(政)、福山、榊原、加藤、木村、新宮、永

岡、音川

二年 植村(剛)、植村(健)、阿部、瓜生、小林、森

田、関根、熊谷、町田、田村、森田

一年 友田、永田

本塾対日本体育大学対抗試合

十一月二十三日 於 日体大

本塾

日体大

先鋒 津隈 良平(2) 弘腰 先鋒 ○坂井(2)

○加藤 進(3) 合枝 坂井

加藤 優勢 ○白土(3)

新宮 松比呂(3) 引分 白土

山口 滋(3) 優勢 ○中原(3)

○植村健次郎(3)	○榑原孝至(3)	林	林	林	林	○渡辺政宏(3)	○渡辺雅和(3)	○渡辺寛(3)	木村引分	田村引分	熊谷正志(3)	町田勝己(3)	森田	○森田	○森田	○森田	○森田	友田	友田	友田	友田	永岡秀昭(3)
大外刈	崩上四方	引分	大外刈	大外刈	大外刈	内股	一本背負	一本背負	引分	引分	崩上四方	引分	肩車	合技	大外刈	内股	弘腰	弘腰	内股	崩上四	送襟紋	優勢
佐藤	○佐藤(3)	小西(3)	○西川(3)	金子(3)	山本(3)	○山本(3)	北村(3)	金谷(3)	林田(3)	大崎(3)	○大崎(3)	池上	池上	前村	中村	石田	綾	○綾(3)	吉村(3)	宇上(3)	中原	○中原

第十二回早慶對抗柔道戦

十一月十七日 於 講道館

大将佐藤以下四名残して快勝する。

今年は例年にならない強化合宿を重ねて早稲田大学戦、必勝を期して、塾はベストメンバーでのぞんだ。前半早稲田川西君の活躍でリードされたが、後半新原君が中島君を返し技で破り、反撃ムード高まったが、早稲田の引分作戦の為引分が続ぎ、大将植村(剛)君が山下君に返技で敗れ万事休した。塾としては前半リードすべき所逆にリードされた事が敗因であった。

総じて早稲田の選手は勝負に対してどんよくで、引分

植村	小林浩一(3)	引分	中島(3)
音川和(3)	引分	溝上(3)	
音川	優勢	東(3)	
○阿部智応(3)	上四方	○吉永(4)	
○阿部	横四方	吉永	
阿部	大内刈	坂梨(4)	
植村剛太郎(3)	横四方	○小田	
齋秀一郎(4)	大外刈	○小田	
○新原武文(4)	優勢	小田	

今井豊 拔群にて優退	6	5	4	3	2	1	乙丙組の部					加藤陽拔群にて優退								
	○今	○今	○今	○今	○今	横内寛一	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
	井	井	井	井	井		吉田	吉田	深沢	深沢	森秀雄	遠藤正彦	渡辺弘二	松葉直彦	古屋敏郎	渡辺和男	加藤	加藤	加藤	加藤
	背負投	大外刈	内股	足弘	背負投	引分	優勢	大外返	大外刈	大内返	引分	合技	袖釣込足	引分	合技	袈裟固	大外落	大外落	優勢	袈裟固
	片岡洋一	横原憲一	前原弘徳	吉田鋼一郎	吉田舜太郎	○今井豊	○池田晴彦	○中村俊彦	○吉田真人	堀越忠利	深沢忠房	○森秀雄	○遠藤正彦	○渡辺弘二	○松葉直彦	○古屋敏郎	竹内明彦	佐々木進	岸勇二	野島豊一郎

五・六・七級の部										22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7		
6	5	4	3	2	1	藤田秀一	小岩井剛	小林剛	小林博	藤田秀一	桑原靖夫	桑原誠一	栗原保行	栗原武治	広田勇治	島田	島田	島田	島田	若林幸昌	奈良間楠雄	白仁力	白仁力	白仁力	白仁力	白仁力	白仁力
引分	引分	優勢	足弘	優勢	引分	引分	合技	引分	上四方	右投	袈裟固	内股	優勢	内股	内股	引分	大内返	大外刈	優勢	大内返	袈裟固						
梅野隆雄	藤田秀一	○小岩井剛	菅原弘道	金原明彦	小林元博	山上祥彦	○桑原靖夫	勝又誠一	羽藤武臣	○栗原保行	石原武尚	○広田勇治	橋本信賢	富田修市	腰原正昌	島田幸昌	○若林楠雄	○奈良間力	村田達彦	池田章	浜田桂						

三、
四級甲組の部

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
田	田	田	荒	荒	山	金	辻	望	堀	堀	辻	沢	菅	中	中	櫛	櫛	秋	山	山	梅
中	中	中	川	川	中	杉	村	月			村	地	原	山	沢	田	田	本	科	科	野
			敏		三	篤	篤	克			篤	一	正	祺	征	良	貞				隆
			弘	徹	六	浩	三	己			三	憲	豊	朗	身	平	明				雄
大外刈	優勢	背負空	背負投	背負投	背負投	合技	弘腰	引分	背負投	合技	弘腰	優勢	引分	引分	釣込腰	引分	優勢	引分	優勢	大内刈	横四方
○中島宜男	○太田勝朗	○田中明弘	○田中敏弘	○荒川宜徹	○山中三十六	○金杉浩	○辻村篤三	○望月克己	○堀田明男	○堀田信孝	○竹本真次	○秋地一憲	○菅原正豊	○中山祺朗	○中沢征身	○牛場春夫	○櫛田良平	○秋本貞明	○青山哲	○山科誠	

13 ○中島宜男 返投 太田勝朗
 14 中島 足弘 ○二田水弘平
 15 二田水弘平 足弘 ○井田健爾

十二月四日 於

志木高校 6 — 1 飯能高校

先鋒 島田 引分先鋒 吉沢
 森田 引分 岡野
 増田 内股 ○丸山
 ○神谷 合技 高橋
 ○今井 合技 金子
 栗原 引分 新地
 ○中島 合技 樋口
 ○鈴木 背負投 黒木
 竹村 引分 土屋
 ○渡辺 袈裟固 石井
 大將 ○岡本 体落 大將 天野

〔余録〕

志木高校柔道場の竣工 昭和三十五年六月十一日

三田柔友会の寄附に依って、木造平家建四〇坪の道場が志木高校敷地内に建設された。